

# 続・親鸞の生と死

●講師 同朋大大学院教授 田代 俊孝

2011年親鸞の750回忌を迎えます。これに際し、各派本山で盛大な御遠忌法要が営まれ、思想家親鸞に改めて光が当てられています。映画『おくりびと』の原案とされる青木新門著『納棺夫日記』にも親鸞の死生観が表現されています。



今から22年前、同朋大学に「死そして生を考える研究会」を作り、市民とともに、死を問い、死に応えうる生を目指して、「死」をライフワークにしてきた講師が、その学びの後を講じます。続編では、死を超えていった人々について、具体的な事例を挙げて話します

- | ●開講日  | テーマ                   |
|-------|-----------------------|
| 7月26日 | 親鸞に学んで死を超えていった人々②     |
| 8月9日  | 親鸞に学んで死を超えていった人々③     |
| ●日時   | 月曜 14:00～15:30        |
| ●受講料  | 2回分4,620円             |
|       | ※新入会の方は入会金4,200円が必要です |



朝日カルチャーセンター  
朝日JTB・交流文化塾

名古屋

名古屋市中区栄3の4の5  
スカイル10階  
TEL 052-249-5553